

「あーすぷらざ」から講師の方を招き、主人公スーホの暮らすモンゴルについてのスライドを見たり、お話を聞いたりしました。モンゴル語でのあいさつ「センベノー（こんにちは）」や、自己紹介「ナマエグ〇〇ゲデグ（私の名前は〇〇です。）」を教わり、「日本語みたいだね。」と言いながら友達や講師の方とあいさつをしました。また、モンゴルの冬は日本よりずっと寒いことや、町と草原のどちらでも暮らすこと、草原から草原に移動するためにゲルという家ごと引っ越すことなどを聞いて、自分たちの暮らしとの違いに驚いていました。そのあと、実際に「馬頭琴」を弾いたりモンゴルの衣装を着たりする体験をしました。「きれいな音ができる。」「弦を弾くのに力が入る。」「馬頭琴は意外と大きい。」「モンゴルの民族衣装は色がきれいで動きやすい。」などの感想が聞こえてきました。

『スーホの白い馬』は長いお話だけど、勉強するのが楽しみになりました。」と話していた子もいて、とてもよい体験になったと思います。

